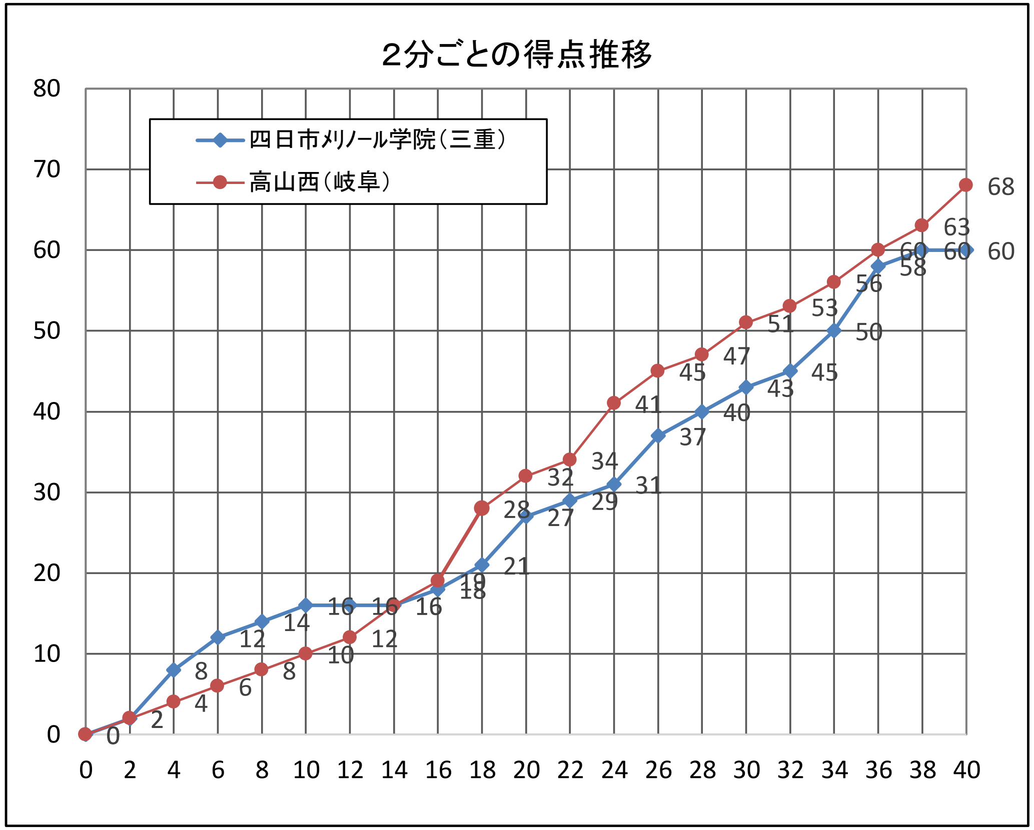
令和６年度　第３８回　東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試 合 日：2025年2月15日（土）
会　　場：四日市市総合体育館
コ ー ト：A4
開始時間：16：00～

Team A				Team B
四日市メリノール学院（三重）	60	16 — 10	68	高山西（岐阜）
		11 — 22		
		16 — 19		
		17 — 17		
		OT		



Team A：　四日市メリノール学院（三重）

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	DR	TOT	AS	ST	BS	TO	PT
4	＊	中屋敷　宏聖	5		2	1	3								
5	＊	山下　來輝	6	2			1								
6		廣島　愛叶	6		3										
7		川上　一翔	3		1	1	1								
8	＊	大薮　空來	23	2	8	1									
9	＊	安田　旺太	6		1	4	5								
10		鈴木　大樹													
11		鈴木　董滋													
12		岩瀬　蒼													
13		小林　楓馬	0				2								
14		岡本　悠太	3	1			1								
15		川口　幸志	0				1								
16	＊	伊藤　鉄心	8		4		2								
17		杉井　愛之介													
18		林　瑛士													
Team/Coach:															
合　計			60	5	19	7	16	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B：　高山西（岐阜）

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	DR	TOT	AS	ST	BS	TO	PT
1		鈴木　悠矢	10		5										
4		高岡　巧	6		3		2								
5		大越　正一朗	4		2		2								
8	＊	板倉　瑠郁	2		1										
9	＊	垣内　大和	12	2	3		1								
10		野原　大誠													
11	＊	伊藤　稀広	3	1			2								
23	＊	オカフ　チネドゥ	22		10	2	4								
27		佐伯　悠良	2			2	2								
29		都竹　奏太朗													
33		木村　廉													
34		枡田　爽良	5	1	1		5								
41		小池　凛汰朗													
49	＊	大窪　優誠	2		1		1								
55		仲間　結海													
Team/Coach:															
合　計			68	4	26	4	19	0	0	0	0	0	0	0	0

【戦評】　　記入者　伊藤　将伸

1Q、メリノール学院はハーフコートマンツーマンディフェンス、高山西はオールコートマンツーマンディフェンスで始まる。高山西は＃23を中心に攻めるが、メリノール学院のチームディフェンスを攻略することができず、なかなか得点に結びつかない。一方、メリノール学院はドライブから外に合わせて＃5の3P、＃8の3P・ジャンプシュートで得点を重ねる。16－10メリノール学院がリードして、1Q終了。
2Qが始まり、高山西は2－3ゾーンディフェンスに切り替える。徐々に点差を縮め、逆転に成功する。その後も高山西の勢いは止まらず、＃4、＃23を中心に得点を重ね、リードを広げる。対するメリノール学院も＃8が果敢にゴールにアタックし、得点を重ねるが、27―32と高山西が5点リードをし、前半終了。
3Q、メリノール学院は＃8の力強いプレーで得点し、チームに勢いをつけ追い上げをはかる。しかし、高山西の激しいディフェンスはそれを許さず、さらにリードを広げ、43－51と8点リードで4Qへ。
4Qに入っても、メリノール学院は＃8を中心に辛抱強く攻め続け、残り6分メリノール学院＃8の3Pで3点差に追い上げたところで高山西はたまらずタイムアウト。53－56。
その後も一進一退の攻防が続くが、最後は＃23のリバウンドシュート、＃9の3Pで得点を重ねた高山西が60－68で勝利した。

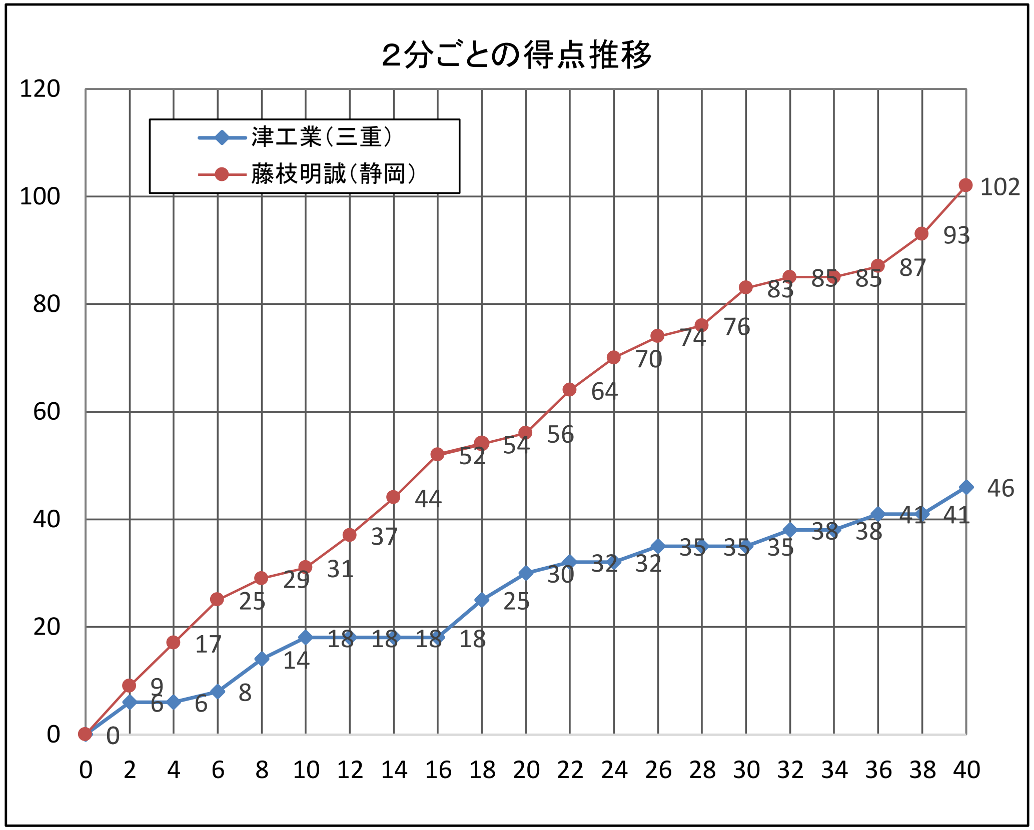
CC	河村　成晃	U1	小坂　健二	U2	原　照貴

令和６年度　第３８回　東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試 合 日 :2025年2月15日(土)
会　　場 :四日市市総合体育館
コ ー ト :B4
開始時間 :16:00～

Team A					Team B
津工業（三重）	46	18 — 31		102	藤枝明誠（静岡）
		12 — 25			
		5 — 27			
		11 — 19			
		OT			



Team A:　　津工業（三重）

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	DR	TOT	AS	ST	BS	TO	PT
0		大西　脩翔	0				2								
1		山岡　秀													
2	*	上寺　陸斗	15	2	4	1	1								
9	*	横山　大翔	8	2	1		1								
12		長谷川　槻													
13		伊藤 佑成	3	1			2								
14	*	大谷　悠真	10	2	2		1								
17	*	玉野　快	2		1										
22		ｴｸｪｵﾊﾞ ｼﾞｬｽﾃｨﾝ ﾁﾉｿ	3	1											
24		古門 和也													
28	*	押田　宗真	5	1	1		2								
33		カステド ロヘル	0				2								
36		吉川　颯乃													
79		伊藤　明日真													
91		岩見 聖弥													
Team/Coach:															
合　　計			46	9	9	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B:　　藤枝明誠（静岡）

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	DR	TOT	AS	ST	BS	TO	PT
5		戸田　湧大	4		2										
7		長谷川　陽大	3	1			3								
10		久保田　直柔	6		3		1								
12		永田　貴陸	6		3										
13	*	渡邊　聖	3	1											
14		福間　聖也	6		3		1								
19	*	野津　洸創	19		9	1									
21	*	高平　爽太	4		2		1								
24		工藤　蒼空	7	2		1									
31		金子　來樹	2		1		1								
35		柴田　陽	4		2										
39	*	篠原　遼太	6		3										
44	*	アメー エマニュエル チネメルン	20		10										
47		高松　悠季	4		1	2									
77		徳田　翔太	4		2										
Team/Coach:															
合　　計			98	4	41	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0

【戦評】

記入者　高橋　一輝

1Q、津工業3－2ゾーン、藤枝明誠マンツーマンディフェンスで開始。序盤から藤枝明誠は＃19の連続得点や＃44のシュートで得点を伸ばしていく。津工業は＃28、＃14の3Pで得点していく。津工業1Q残り6分のタイムアウト後、ドライブで果敢にオフェンスを仕掛けていく。藤枝明誠も高さを活かし18—31で藤枝明誠がリードで1Q終了。

2Q、藤枝明誠はアグレッシブなディフェンスから速攻や＃44のインサイド中心に次々に得点していく。津工業は藤枝明誠の高さから思うように得点ができない苦しい展開が続く。藤枝明誠が30—56とさらにリードを伸ばし、前半終了。

3Q、流れを掴みたい津工業は＃2が3Pを決め、勢いに乗ろうとするも、藤枝明誠が後半序盤からリズムよく連続得点していく。3Qで津工業の得点を5点に抑えた藤枝明誠が35—83とリードのまま3Q終了。

4Q、試合を通して主導権を握り続けた藤枝明誠は最後まで得点を大きく伸ばし、100点台に乗せた。津工業は＃2、＃22が要所で3Pを決めるも46—102で藤枝明誠が勝利した。

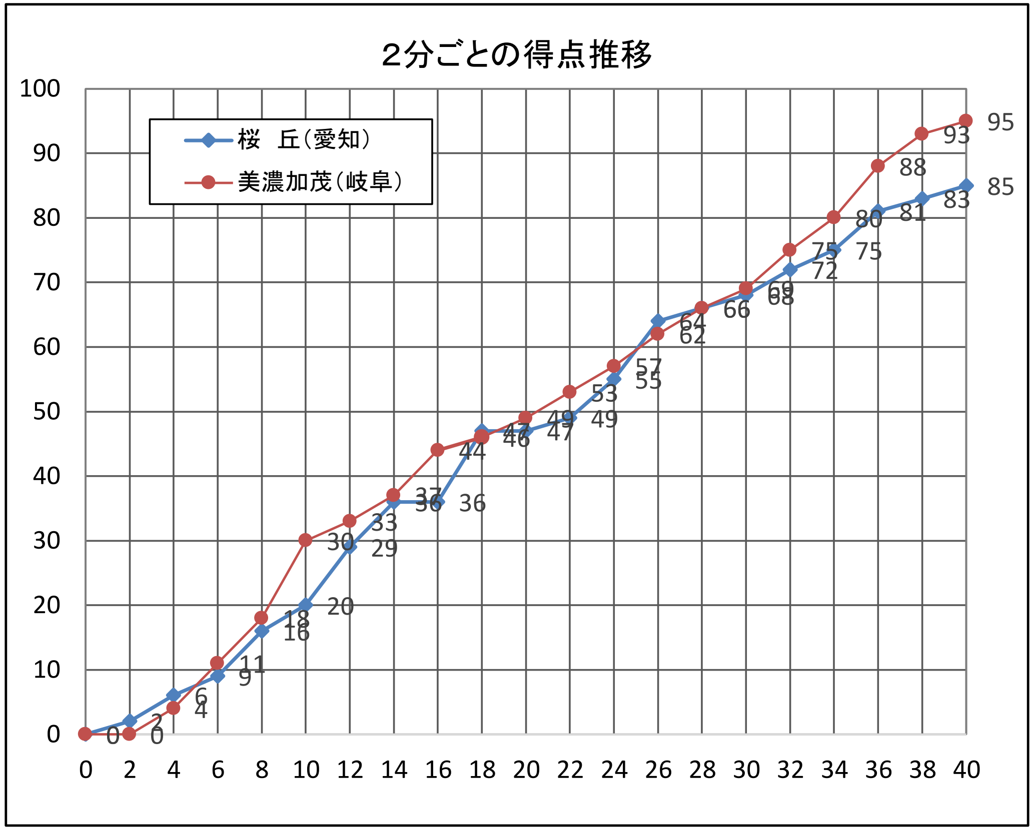
CC	足立　尚隆	U1	折戸　雄	U2	井村　延広

令和６年度　第３８回　東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試 合 日 :2025年2月15日(土)
会　　場 :四日市市総合体育館
コ ー ト :C4
開始時間:16:00～

Team A				Team B
桜　丘（愛知）	85	20 — 30 27 — 19 21 — 20 17 — 26 OT	95	美濃加茂（岐阜）



Team A:　桜　丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	AS	ST	BS	TO	PT
0	*	ジェイ　ムハメド	6		3		1								
1	*	竹内　光一	30	2	12		1								
3	*	近藤　雄大	2		1		1								
4		森　蒼心	0				1								
7		ブリス　アレキサンダー													
9		渡辺　佑斗													
13	*	前田　晴舞	27	2	8	5	4								
19		佐藤　隼斗													
22		平澤　恵太													
23		ディアイ シェイク トゥーバ フェイ	11		5	1	1								
24		万江　駿汰													
26		田島　陸貴													
31	*	森　祐都	7	1	2		3								
32		竹本　虹輝	2		1										
81		安藤　颯													
Team/Coach:															
合　計			85	5	32	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B:　美濃加茂(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	AS	ST	BS	TO	PT
4	*	鈴木　陸音	13	1	5		1								
5	*	浅野　柚馬	11		5	1	1								
6	*	アブドラ　ムハマド	17		8	1	2								
7		大城　執逢	4		2										
8		奥村　輝己	5	1	1		1								
9	*	羽田野　夏向	20	5	2	1	2								
10		上村　龍空													
11		福田　悠朔													
12		源古　隆也													
13		山﨑　瑛太													
14		澁谷　飛和													
15		小川　和希													
16	*	川﨑　夏樹	9	1	2	2	2								
17		藤田　晴也	16	3	3	1	3								
18		篭橋　蒼佑													
Team/Coach:															
合　計			95	11	28	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0

【戦評】　　記入者　伊藤　友美

1Q、両者ともマンツーマンディフェンスでスタート。高さ勝負では互角の戦いの中、外角陣のシュートがよく決まる。美濃加茂は#9の3Pバスケットカウントで流れを引き寄せ、20－30の10点リードで1Q終了。
2Q、桜丘はオールコートディフェンスで激しくプレッシャーをかけ、開始2分で連続7得点。美濃加茂も#16の3Pで反撃を止めようとするが、3分経過時点で同点に追いつかれてしまう。桜丘はディフェンスを2－2－1から3－2のゾーンに変え、そのまま逆転を試みる。しかし、美濃加茂も粘り強くボールを追いかけチャンスをモノにしていく。47-49のシーソーゲームの展開で前半終了。
3Q、後半開始は美濃加茂がギアを上げ、速いゲーム展開で、開始2分で＃4、＃5、＃16の連続得点。桜丘はたまらずタイムアウト。タイムアウトで落ち着きを取り戻した桜丘だが、その後も一進一退の攻防が続き、両者一歩も譲らないまま68-69で最終Qへ。
4Q、美濃加茂は満身創痍の中、＃17の連続得点で75-86とリードを広げる。残り5分、桜丘は後半2回目のタイムアウトで立て直しを図りたいが惜しくも届かず、粘り切った美濃加茂が準決勝へと駒を進めた。

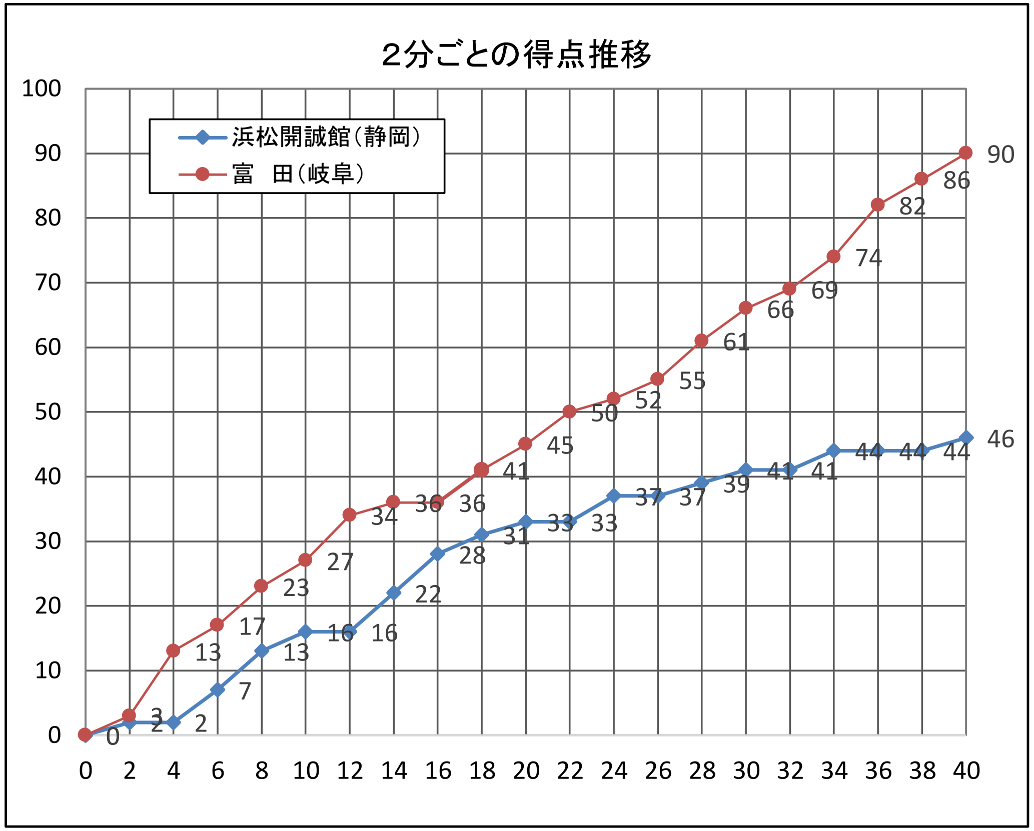
CC	横井　泰人	U1	佐藤　寛太	U2	松浦　雅人

令和６年度　第３８回　東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試 合 日 : 2025年2月15日（土）
会　　場 : 四日市市総合体育館
コ ー ト : D4
開始時間 : 16：00～

Team A					Team B
浜松開誠館（静岡）	46	16 — 27		90	富　田（岐阜）
		17 — 18			
		8 — 21			
		5 — 24			
		OT			



Team A：　浜松開誠館（静岡）

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	DR	TOT	AS	ST	BS	TO	PT
4	*	高森 カイル	10		5										
5		猿田　楽人													
6	*	後藤 大駕	19	3	3	4	3								
7	*	木村 晄大	10	2	2		3								
8	*	吉田 澪央	0				2								
9		岸川 藍佑													
10	*	谷口 恒瑛	0				2								
11		加藤 心	7	1		4	3								
12		宮城 琉希	0				1								
13		石田 唯翔													
14		小長井 奏空													
15		重信 大翔													
16		神谷　玄													
17		古田 椋也													
18		野口 宗昭													
Team/Coach:															
合　計			46	6	10	8	14	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B：　富　田（岐阜）

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND OR	DR	TOT	AS	ST	BS	TO	PT
4		遠藤　慎太	2		1		1								
5	*	阪　晃成	5		2	1	5								
6		小川　諒真	3		1	1									
7	*	川﨑　絆成	18	4	3		3								
8	*	関川　唯大	18	4	3										
9		後藤　一馬													
10	*	アブドゥルガニュ　アブドゥルガニュ	22		9	4	1								
11		渡邉　煌也	10		5										
12		三品　琉生	2			2									
13	*	廣井　颯大	8		4		1								
14		西村　琉音													
15		前田　匠太郎													
16		関　保之助	0				1								
17		服部　椿	2		1		1								
Team/Coach:															
合　計			90	8	29	8	13	0	0	0	0	0	0	0	0

【戦評】

記入者	奥田　亜紀子

1Q、浜松開誠館はハーフコートマンツーマンディフェンス、富田はオールコートの2-2-1から3-2のディフェンスで始まる。富田は#10の高さを活かしたインサイドプレーやオールコートでの激しいディフェンスからの速攻で得点を重ね開始4分で13-2と大差をつける。浜松開誠館は速いパス回しで富田のディフェンスを揺さぶるろうとするが上手くいかず16-27で1Q終了。

2Q、富田の勢いは止まらず差は開いていく。富田#13の負傷交代があり、そこから浜松開誠館はじわりじわり得点を重ね#7,6の連続3Pシュートで31-36まで詰め寄る。富田はタイムアウトで再度流れを取り戻し2Q.を33-45で終了。

3Q、負傷交代していた#13がコートに戻り、落ち着きを取り戻した富田は#10のインサイドプレーやリバウンドで得点を決めていく。浜松開誠館は1-2-1-1ディフェンスから相手のミスを誘うが得点が伸びないまま41-66で3Q終了。

4Q、富田は3Qの勢いのまま3Pシュートを連続で決めさらに得点を重ねる。最後はベンチに控えていた選手も交代出場する余裕を見せ、90-46で勝利した。

CC	中島　英之	U1	山崎　豊	U2	津坂　誠